建替計画の方向性

■ 計 画 概 要

○高層化、集約化をすることで、ゆとりある住環境をを形成し、周辺街区の環境へも配慮した配置計画とする。

○周辺緑地帯や公園の景観を活かした環境整備をおこない、良好なまちなみの形成を図る。

○既存道路やｼﾞｮｷﾞﾝｸﾞﾛｰﾄﾞを活かし、県営住宅や市営住宅（全面的改善を含む）と一体性を維持した計画とする。

○多様な居住者が住み続けられ、継続的な地域コミュニティの形成を行うため、ユニバーサルデザインを導入する。

○世帯構成の状況などに対応した複数の住戸タイプの供給を行うことにより、地域コミュニティの活性化を図る。

○建替時の仮移転をできるだけ少なくし、入居者の引っ越し等の負担を軽減する建設計画とする。

○将来活用地を創出し、高齢化の進行など地域の課題を踏まえた活用を図る。

建設住棟数／戸数	公営住宅：12棟 / 約1,200戸 改良住宅：3棟 / 約440戸
構造／階数	鉄筋コンクリート造 ／ ５～１４階
将来活用地	約１０，０００㎡

■ 事業スケジュール

○ 全体事業期間 ：15 年程度

○ 第 1 期事業として平成 26 年度に 17, 26, 27 棟の解体（130 戸）
・新築工事（144 戸）に着手予定。

○ その後は仮移転先や国費等の予算の確保に努めながら、建設年度が古い住棟が多いブロックから順次建替事業に着手予定

計画配置図（イメージ）

※全面的改善実施住宅は建替事業対象外